

令和6年度 浜松市立与進小学校 グランドデザイン

国の指針
 令和の日本型学校教育
 ・個別最適な学び
 ・協働的な学び
 ・カリキュラムマネジメントの充実
 ・GIGAスクール構想 ・働き方改革

浜松市の指針
 第3次浜松市教育総合計画(後期～最終年度)
 ◇ 未来創造への人づくり
 ◇ 市民協働による人づくり
 3つの柱 ※キャリア教育を核とした人づくり
 ※ICTの活用 ※CSの推進

与進中学校区で目指す子供の姿
 【自信をもってともに進む長上の子】
 ※中学校区全体で見た長上の子のよさ
 ・やさしい ・好奇心旺盛 ・あいさつがよい
 ・人懐っこい ・元気・よく遊ぶ
 ※課題と思われる点
 ・粘り強さ ・学力の向上・基本的な生活習慣の定着
 ・挑戦する心

与進小の歴史【学校創立 152年目】
 令和5年度 150周年記念式典において、正門に「築立ちの像」を設立



【校訓】 ともに進もう
 “ともに、・・・自他を尊重する精神 人として欠かすことのできない重要な生き方(人格・人間性)
 “進もう、・・・行動指針(ポジティブ志向・向上心) 前(明日・未来)を向いて、向上していこう”

学校教育目標 志をもち、共にやりぬく子

【目指す子供像】

※副題：「しなやかな子」・・・しなやかな感性としなやかな知性を持つ子に育てほしいという願い

◎主体的・対話的で深い学びを実現し、自らが求めて学習に取り組む子に
 ・与進小学びのプランの実践
 ・温かな聴き方・やさしい話し方
 ・分からないを大切に
 ・ICTの利活用

◎「与進ファミリー」のよさや大切さを言葉や態度、行動で表現できる子に
 ・誰にでも元気で明るい挨拶を
 ・ふわふわ言葉で友達に接する
 ・廊下歩行を考える

◎「体力アップコンテスト」を利用した体力作り 学級集団作りで所属感を味わえる子に
 ・失敗や間違いを認め合える集団作り
 ・多様性、お互いを理解するように努める
 ・頑張りや喜びは共有

【具体的な取り組み】

発達支援教育の理念を根底の基盤に・・・一人一人を大切にした指導 誰も取り残さない温かな支援 互いを尊重し、様々な価値や多様性を理解

【学習では】
 ①全ての児童が安心して学習に取り組むための授業の進め方を意識する。
 (温かな聴き方・やさしい話し方のステップ表活用、評価)
 ②学びのプランで子供たちに付けたい資質・能力を明確にして授業を行う。
 ③よい学習集団・よい授業モデルを意識した授業改善に努める。(思考を支える7つの言葉)
 ④互いを認め、共に高め合う授業を目指す。
 (「分からない」からスタートする課題への挑戦と学習過程を大切に評価)
 ⑤ICTを学習道具として積極的に活用する。

【生活では】
 ①委員会活動や学級活動、各行事などで目的を意識した指導、活動を行っていく。
 ②道徳科の授業の中でも、あいさつや思いやりの気持ちなどの大切さを考えさせていく。
 ③「与進ファミリー」を合言葉に、共感的な態度で話を聴いたり、子供たちの頑張りを賞揚したりする。
 ④いじめ撲滅を目指し、各種アンケートや教育相談等で子供の悩みをいつでも相談できるように呼び掛けていく。
 ⑤毎月「心の日」を設定し、全校一斉の指導を行う。

【健康・体力では】
 ①学級目標を子供たちと話し合っ、集団で力を合わせて取り組むよさを味わわせる。
 ②失敗や間違いを当たり前と捉えるとともに、挑戦する子供への賞揚を積極的に行い、前向きな気持ちを育てていく。
 ③課題を克服する喜びを全員で味わうとともに、その価値付けを教師が意図的に行っていく。
 ④子供たちの頑張りや活躍を積極的に広報し、保護者や地域とともに子供たちを育てていく気持ちを高めていく。

キャリア教育を核とした人づくり～夢と希望をもって未来を切り拓き、自分らしく生きる力を育む 与進小では・・・
 ◎他者理解・他者への働き掛け＝人とかかわる力 ◎自己の役割の理解＝自分を見つめる力
 ◎情報の理解・選択・処理＝挑戦し解決する力 ◎学ぶことや働くことの目的・意義・多様性＝未来へつなげる力を育てたい力とし、地域や家庭とともに学校教育活動で実践していく

※地域と共に

社会に開かれた教育課程の実現(カリキュラムマネジメント)

※家庭と共に

カリキュラムデザイン
 学びを高めたり見つめ直したりして、挑戦し続ける教育課程

PDCA サイクル
 学校評価を生かした学校・授業改善
 子供・保護者・職員・地域の声を生かす
 分析をみんなで共有する

資源の活用
 地域の資源の活用・発掘 CSを生かした地域とのつながり(学習ボランティア・安全確保・いじめ対応など 与進の応援団との連携)

※学校と共に 常に学び続け、専門性・指導力を高める熱意と使命感をもった信頼される職員